

# 合法 JK がド M 土方と SM

## 純愛セックス

～Tyitter の出会い～

俺（42 歳・土方）は、ただの筋肉バカだった。

朝 5 時から夕方まで鉄筋を組んで、汗と土と日焼けで真っ黒。

風呂に入る気力も残ってなくて、作業着のままコンビニ弁当食って寝る毎日。

そんな俺が唯一の楽しみにしてたのが Tyitter。

現場の写真とか、汗でびしょびしょの自撮りとか、ちょっとチャホヤされたくて

「#土方飯」「#筋肉おち」「#日焼け跡エロい」みたいなタグで上げてた。

ある夜、酔った勢いでこんな呟きをした。

「マジでビンタされたい。頬腫れるくらい本気で叩かれない。

女の子に土下座しながら頬叩かれて中出ししたい」

完全に黒歴史確定のツイートだった。

でも、数分後にリプが来た。

@ayaka\_18

「叩いてみたいです♡

叩く音、録音してあげようか？ DM ください」

アイコンは制服の自撮り。

鍵垢じゃない。普通に高校3年生って書いてある。

「犯罪だろ」と思ってプロフ見たら、

「18 歳になりました♡ 合法です♡ マゾおち大好き♡」

って書いてあった。

俺は震える指で DM を送った。

「マジでビンタしてくれるの……？」

即返信。

「土方さんの日焼けした頬、叩きがいありそうだから本気で  
すよ♡

今からでも通話します？」

～初めてのビデオ通話 堕ちる前夜～

その夜、俺は風呂も入らず作業着のままベッドに倒れ込んで

た。

23 時 47 分。着信が来た。

画面に映ったのは、彩花だった。

制服のまま、自分の部屋。ブラウスのボタンは上から 4 つ外れてて、黒いレースのブラがチラチラ見える。

彩花「やっと会えた……土方さん、めっちゃ臭そう♡」

俺「失礼だろ普通に…」

俺がカメラを近づけると、彩花は鼻をクンクンさせて笑った。

「うわ、画面越しでも汗臭いのが伝わってくる……最高」

俺は照れる。

そして、彩花はいきなり右手を振り上げた。

彩花「いくよ？ セーの！」

ぱちん！（もちろん当たらない）

俺は勝手に頬を押さえて悶えた。

俺「あっ……彩花、もっと強く……」

彩花「ほら、声出して。土方さんって、ビンタされたらどんな顔するの？」

彩花はカメラを下に降ろした。

スカートの中。白のパンツが、もう中心だけ透けてる。

彩花「見て。おちの顔想像するだけで、こんなに……」

指で布を横にずらして、ツルツルの割れ目を晒す。

ピンクで、ぬるぬる光ってる。指を一本、ゆっくり挿入。

彩花「んっ……はぁ……土方さんの、太いの欲しい……」

俺はもう我慢できなくて、作業ズボンのチャックを下ろした。

汗と土で汚れたチンポが、ビクンと跳ねる。この俺がテレセなんて…

「うわ……でっか……日焼けと血管、すごい……」

彩花は指を二本に増やして、ぐちゅぐちゅ音を立てながら扱き始めた。

「明日、会おうよ。今すぐでもいい。土方さんの部屋、教えて」

俺は震えながら住所を打った。

「来てくれ……全部、彩花にあげるから」

～運命の当日 玄関で始まる恋～

翌日、土曜日。

俺は朝から現場だったけど、14時には切り上げて帰宅。

シャワーを浴びようか迷ったけど、彩花に「汗臭いままがいい」って言われたので、そのまま待った。

17時12分。チャイム。

ドアを開けると、彩花が立っていた。

俺「は、はじめまして」

制服の上に薄いカーディガン。手にはコンビニ袋。

中身はビールとつまみとローション。あと、なぜかアイスノン。

期待でちんこが脈打つ

彩花「……やっぱり、臭いっ♡」

彩花は一步踏み込むなり、俺の首に腕を回して、

ぱちいんっ！！

全力ビンタ。